

部局名	教育委員会	所属名	少年自然の家	所属長名	佐々木 秀一	電 話	488-6538
-----	-------	-----	--------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3478		事務事業名称	少年自然の家運営事業					短縮コード	経常	3478	臨時	3479
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	05	少年自然の家運営費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市少年自然の家設置条例，八千代市少年自然の家管理規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和４５年より，文部省（現文部科学省）施策の補助金の交付により，少年の健全育成のための社会教育施設として，昭和４９年に開所。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
開所時期に比べて，市内全体の自然環境が減少しつつあり，少年の野外での実体験が少なくなっている現在において，自然環境に恵まれた少年自然の家で，小・中学生が自然探究や野外体験を集団で行うことにより，情操や社会性を培うことは大切なことである。今後，健全な少年の育成には，少年自然の家の必要性が高まってくる。そういう意味でも施設・設備の充実と活動プログラムの充実が望まれる。					大項目（節）	02	生涯学習						
					中 項 目	02	社会教育						
					小項目（施策）	02	社会教育施設の整備						
					細 項 目	02	その他の社会教育施設の整備						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・教育課程に基づく学習活動を行う義務教育学校の児童及び生徒並びにその引率者 ・義務教育学校の児童又は生徒を主たる構成員とする団体及びその引率者 ・プラネタリウムの投影と自然観察会などの主催事業へ参加する小学生以上の者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ・市内各小・中学校の教育課程に基づいての宿泊訓練や日帰りの体験学習の支援，少年団体の宿泊や日帰り体験活動の場の提供と活動の支援を行った。専門的なプラネタリウムの投影や自然観察等については指導員が指導・支援した。また，市民にプラネタリウムの一般公開，自然観察会（野草・野鳥観察会），天体観望等の主催事業を提供した。							
	※平成19年度に計画していること： 活動内容は平成１８年度とほぼ同じである。主催事業の参加募集やホームページの更新を適宜行っていく。							
意図 （何を狙っているのか）	児童・生徒が宿泊学習や日帰りの学習で自然探究や野外活動をとおして，情操や社会性を培うことやプラネタリウム投影，天体観測，自然観察会等をとおして，小・中学生や市民に環境問題への関心や自然に触れあう感動を味わわせることを目的としている。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	八千代市内の小・中学校の児童・生徒数	人	17,019	15,200	15,381	15,833	
	指標2	八千代市内の少年団体に加盟している児童・生徒及びその引率者	人	3,200	3,200	3,200	3,200	
	指標3	小学生以上の市民	人	156,000	158,000	170,887	172,921	
活動指標	指標1	利用した八千代市内の小・中学校の児童・生徒数	人	13,449	12,500	13,954	14,000	
	指標2	利用した八千代市内の少年団体に加盟している児童・生徒及びその引率者	人	2,890	3,000	2,975	3,000	
	指標3	利用した小学生以上の市民及び市外在住者	人	2,491	2,000	2,021	2,000	
成果指標	指標1	利用者の満足度	%	100	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3478	事務事業名称	少年自然の家運営事業				所属名	少年自然の家
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			児童生徒が学校の教育課程に基づいて体験学習を行うことができ、少年団体等が少年の健全育成を目指して活動したり、市民が生涯学習の場として活用したりしている。特に児童生徒の活動体験が不足しているといわれる時代に、自然に感動したり宇宙のロマンに夢を広げられる本施設の事業は、必要であると考える。また、その活動の支援は子ども達の教育について学校と同じ価値を持ち、学校の教育課程を十分理解した上で指導にあたる必要がある。そのため、小・中学校の教員が指導に当たっている。今後も、特に学校教育の一環としての利用において教育目標を達成するには、現状維持が望ましい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			・自然との触れ合いは、オリエンテーリングや野外活動を体験することによって、味わうことができた。また、プラネタリウムや天体観測等で、宇宙規模で自然に触れることができた。・毎月のプラネタリウム一般公開では、星空の散歩が楽しかった。土星についてよくわかった。等の市民の声が多く聞かれた。また、リピーターも多い。・決算特別委員会などでも市議会議員より、自然の家の良さを指摘する声やプラネタリウム機器の老朽化を危惧する声も聞かれた。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・自然とのふれあいについては、ハイキングや野外活動で普段の生活では味わうことができない経験ができた。また、プラネタリウムや天体観測等で宇宙規模で自然に触れることができた。3学年の縦割り活動をとおして、仲間と触れあうとともに協力して取り組むことができた。（利用小学校の感想調査から） ・毎月のプラネタリウム一般公開では、星空の散歩が楽しかった。今夜実際の星空で観察してみたい。火星についてよくわかった。等の市民の声が多く聞かれた。また、リピーターも多い。 ・自然観察や星空を見る会などの主催事業では、内容がわかりやすく充実してよかった。初めて、天体望遠鏡で土星の環を見ることができて感動した。野草を観察していると何気ない植物の不思議に触れることができ、野草を見る目が変わった。野鳥をじっくり見ることができ、羽の美しさなどに感動した。等といった参加者の感動の声が多く聞かれた。リピーターも多い。 ・決算特別委員会などでも市議会議員より、自然の家の良さを指摘する声やプラネタリウム機器の老朽化を危惧する声も聞かれた。									

所属長コメント	設置目的である「自然の探求を行いつつ協力・規律・奉仕の精神を培い、豊かな人間関係を深めること」については、市内小・中学校のセカンドスクールとしての適切な利用のもと、その目的を達成するとともに、学校教育に多大な貢献をすることができた。また、一般市民への植物観察園やプラネタリウム等の公開も好評であり、市民の自然への関心を高めることに貢献できた。また、所員については、研究を怠らず専門性を身につけるとともに、学校教育活動への支援の観点から活動プログラムの作成にあたった。また、広範囲に及び自然環境や施設整備の維持管理についても、委託業者との連携を含め、適切に行った。								
	評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。				
		☐ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
		☐ 統合・役割見直し							
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									